

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の目的

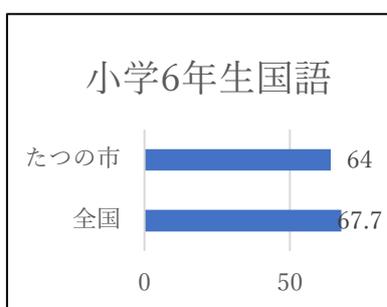
- (1) 全市的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の評価と課題を検証し、改善を図る。
- (2) 児童生徒の学習状況を把握・分析し、授業改善等の教育指導に役立てる。
※本学力調査において、把握できるのは学習指導要領が育成を目指す資質・能力の一部のみであることに留意すること

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和6年4月18日(木)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年
- (3) 本市の調査実施校数及び児童生徒数
 - ・小学校16校 645名
 - ・中学校 5校 562名
- (4) 調査内容
 - ア 教科に関する調査
 - 小学校：国語、算数
 - 中学校：国語、数学
 - イ 質問紙調査
 - ①児童生徒用 学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣等に関する調査
 - ②学校用 学校における指導方法や取組に関する調査

3 調査結果と分析

(1) 小学校国語 (全14問)



<学習の成果が見られた出題内容>

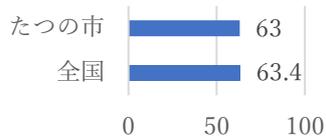
- ・話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができる。
- ・情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができる。

<課題の見られた出題内容>

- ・文の中における主語と述語の関係を捉えることができる。
- ・目的に応じて話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。
- ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

(2) 小学校算数 (全 16 問)

小学6年生算数



<学習の成果が見られた出題内容>

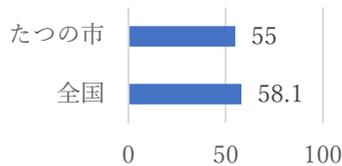
- ・数量の関係を、□を用いた式に表すことができる。
- ・直方体の見取図について理解し、かくことができる。
- ・除数小数である場合の除法の計算をすることができる。

<課題が見られた出題内容>

- ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。
- ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。

(3) 中学校国語 (全 16 問)

中学3年生国語



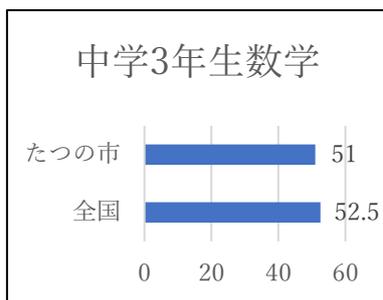
<学習の成果が見られた出題内容>

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
- ・具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。

<課題が見られた出題内容>

- ・表現の効果を考え、描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができる。
- ・話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができる。
- ・目的に応じて必要な情報に着目して要約することができる。
- ・文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。

(4) 中学校数学 (全 16 問)



<学習の成果が見られた出題内容>

- ・ グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。
- ・ 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる。
- ・ 二つのグラフにおける y 軸との交点について事象に即して解釈することができる。

<課題の見られた出題内容>

- ・ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ・ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ・ 筋道を立てて考え、説明することができる。

4 たつの市教育委員会の今後の取組

(1) 成果・課題の分析・把握と学習指導の充実

全小中学校において、調査の成果と課題の分析を行い、指導体制や指導方法を工夫改善し、様々な学習形態を取り入れながら、きめ細かな指導を実現し、基礎・基本の定着を図りながら、自ら学び考える力を育成する。

(2) ICT を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びへの授業改善の推進

児童生徒 1 人 1 台端末やその他の ICT 機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びが一体化できるよう、教員の研修体制の充実を図り、教育の質の向上を図る。

(3) 「ことばの力」を高めるための取組

文章の内容を理解するだけでなく、自分自身が持っている知識や経験と結びつけながら学びを進められる児童生徒の育成のため、モデル校による国語の授業改善を中心とした取組を推進する。

5 児童生徒に関する生活習慣や学習環境等に関する状況

(児童生徒質問紙調査より一部抜粋) ※数値は肯定的な回答の割合 (%)

	質問内容	小学校		中学校	
		たつの市	国	たつの市	国
1	普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある	92.6	91.7	90.3	89.8
2	授業や学校生活では、友達や周りに人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	92.1	91.6	92.8	92.3
3	先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	88.9	87.9	85.1	84.9
4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活に役立てている	84.5	82.3	77.2	76.7
5	友だち関係に満足している	92.6	91.1	93.1	90.1
6	学校の授業時間以外に1日あたりICT機器を30分以上勉強のために使っている	60.2	44.2	37.1	36.4
7	携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について家の人と約束したことを守っている	76.2	71.1	76.8	72.2
8	昨年までに受けた授業でタブレットをほぼ毎日使用した	40.7	25.3	42.5	31.0
9	人が困っているときは、進んで助けている	94.9	92.7	91.0	90.1
10	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.4	96.7	97.5	95.7
11	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.5	95.9	96.2	95.2
12	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	86.8	83.5	79.3	76.1

○質問紙調査のうち、「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」「授業や学校生活では互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」「先生が分かるまで教えてくれていると思う」「健康に過ごすために学習したことを普段の生活に役立てている」「友だち関係に満足している」という回答率が国の割合と比べて上回っていることから、児童生徒が教員や周りの児童生徒との良好な関係の中で健康で充実した学校生活を送ることができていることがわかる。

○ICT機器の活用については、家の人と約束したことを守りながら授業や平日の家庭学習に積極的に活用していることがわかる。

○また、「人を進んで助けること」や「いじめはいけないことである」、「人の役に立つ人間になりたい」など、本市児童生徒が、道徳的な判断力、心情等を身に付けていることがうかがえる。

○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」という回答が高いことから児童生徒が地域学習や地域行事等、地域の方々とのつながりの中で地域に愛着をもち、大切に考えていることがわかる。